

知名町成人式 新成人代表あいさつ



1月2日、あしびの郷・ちなで成人式が開催され、85名（男性49名、女性36名）の新成人が参加しました。新成人の皆さんは、きらびやかな振り袖や羽織袴、スーツを身にまとい、久しぶりに会った級友との再会を喜ぶ姿が会場のあちらこちらで見うけられました。

記念撮影後のオープニングで、新成人による御前風が披露され、成人式の幕が開きました。式典では、平安正盛町長の式辞に続き、新成人を代表して新納辰磨さん（田皆）と宗岡香奈美さん（小米）があいさつを行いました。アトラクションでは、学生時代に結成したバンドの演奏や親子によるピアノとベースギターの演奏が披露されました。

また、新成人手作りのスライドが上映され、各小中学校の代表がスライドの説明を行い、新成人の皆さんは当時を懐かしみ、会場は笑顔と歓声に包まれていました。



男性代表
新納 辰磨

明けましておめでとうございます。

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な成人式を催していただいた来賓の方々、先生方、さらには町当局の方々、そしてご出席いただきました方々、ありがとうございます。

自分は今沖縄の大学に通っていますが、親元を離れて初めて親のありがたみを知りました。普段照れくさくて、言えないのでこの場を借りて言いたいと思います。

「お父、お母、今までありがとう、これからもよろしく。」

「二人みたいな笑いの絶えない人生を送ることが俺の目標です。」

話は変わりますが、自分はこの沖永良部島が大好きです。必ず戻ってきて、この島を盛り上げていきたいと思っています。この島への思いを言い表したいのですが自分は口下手なので、伴奏も何もないですがこの気持ちを歌で表したいと思っています。

（新納さんが池田卓氏の「島の人よ」を熱唱しました。） この歌のように島を忘れることなく、またいつかこの島に戻ってきてこのエラブ島を盛り上げていきましょう。



会場の皆様、新年明けましておめでとうございます。勉学や仕事に励む私たち85名が、生まれ育った故郷であるこの沖永良部島で、めでたく成人式を迎えられることを大変嬉しく思います。この日を無事に迎えることができたのも両親をはじめ、友人、恩師、地域の方々の温かい支えがあったからだと深く感謝申し上げます。

私たちは今成人を迎えたという大きな喜びを感じるとともに、自分の判断や行動に責任をもたなければならないことを痛感しています。

私は今、島を離れ学生生活を送っています。あらゆる出来事に遭遇し、いろいろな経験をしています。多くの人々に出会いたくさんの刺激や影響を受けました。そんな中で、故郷の素晴らしさに気づき、将来は沖永良部に戻って島のために働きたいという気持ちが強くなりました。これからもっともっといろいろな経験をし、国際的視野に立って物事を考えることの必要性を実感しています。そのことが、将来沖永良部に戻った時、知名町の活性化に役立つと考えています。自分の経験や知識は持っているだけではなんの意味もなく、生かし、行動に移していくことが最も大事だと思います。島で頑張っている先輩方や、一足先に働いている友人たちとお互いの力を集結し、さらに大きな力を生み出して、この沖永良部島・ふるさと知名町に貢献できるものと信じています。

最後になりましたが、本日このような盛大な式を開いてくださいました関係者の皆様、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、本当にありがとうございました。

今ここに集う成人一同、沖永良部の知名町出身であることを誇りに、都会の人たちに負けない精神力とやる気で頑張っていくことを誓い、成人代表のあいさつとさせていただきます。



女性代表
宗岡 香奈美